

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院呼吸器内科、虎の門病院呼吸器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の情報を使用して欲しくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2011年4月から2022年3月の間に、虎の門病院呼吸器センター内科で急性膿胸と診断され、入院治療を行った患者さん

【研究課題名】

急性膿胸の治療経過や予後に関する臨床的検討

【単独・多施設】

単独研究

【主任研究者】

虎の門病院分院 呼吸器内科 村瀬 享子

【研究責任者】

虎の門病院分院 呼吸器内科 高谷 久史

【研究の目的】

2011年4月から2022年3月の間に、虎の門病院呼吸器センター内科で急性膿胸と診断された患者さんの患者背景、死亡率や治療概要などについて後ろ向きに観察し、今後の治療方法の立案に役立てることを目的としています。

【研究の背景】

膿胸は胸膜に細菌感染症が生じ、炎症が波及して胸膜腔に膿が貯留する疾患です。口腔内の常在細菌や嫌気性菌などの感染によって発症することが多いとされており、高齢化により誤嚥性肺炎がふえるにつれて今後増加してくることが予想されています。治療方法としては、胸膜腔の膿の排液や、原因菌に有効な抗菌薬を使用するのが一般的ですが、抗菌薬による治療期間や胸腔洗浄の有効性などは明確にされていないのが現状です。この研究を通してよりよい治療方法や治療期間などを明らかにしていきたいと思っております。

【利用する情報】

年齢、性別、体重、身長、Body Mass Index (BMI)、血圧、脈拍、呼吸数、経皮的酸素飽和度濃度、既往歴、内服薬、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、転帰、臨床症状、治療内容（胸腔ドレーン挿入（有無と挿入の左右、挿入本数、挿入期間）、手術の有無、使用した抗菌薬の種類と投与期間、胸腔洗浄、ウロキナーゼ投与）、入院期間、血液検査データ（血液ガス、血算、生化学検査）、胸水検査データ（pH、LDH、白血球分画、糖、Alb、TP、細胞数、培養検査）、喀痰培養検査、胸部単純写真および胸部 CT (computed tomography) 所見などを利用します。いずれもすでにこれまでの治療経過で得られた情報を用いますので、これから新たに患者さんに負担がかかることはありません。このご案内をお読みになり、詳細な説明を希望される場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究実施期間】

2023年1月25日 ~ 2024年3月

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等に置き換えて研究します。

学会や学術雑誌等で公表する場合には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は2024年6月30日まで保存いたします。その後、個人が特定できる記録や患者IDとの対応表などは破棄されます。個人が特定できない研究の解析結果は破棄されません。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は虎の門病院分院呼吸器内科 村瀬 享子となります。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究対象の方とご家族の方等で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内で研究の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問合せがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までお問合せください。

ご自身やご家族等の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年2月1日~2024年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。

この場合でも、診療などの病院サービスにおいて患者様の不利益が生じるようなことはございません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 呼吸器内科 高谷 久史

虎の門病院分院 呼吸器内科 村瀬 享子

電話 044-877-5113